

イーロン・マスク様

この度、2度目のご連絡が成功することを心より願っております。

まずは、**54**歳のお誕生日おめでとうございます。これからの人生において、幸福、知恵、そして成功が共にありますように。

ここに手紙を書いている私、クリス・コドは、紛れもなく真実の人間です。真実にして無限なる神に選ばれ、**39**年間、人類に新千年紀の核心となるメッセージを届けるために尽力してきました。

（長年にわたり、**VK**（**V** コンシューマー・コミュニティ・クラブ）のソーシャルメディア・プロフィールを開設しています（vk.com/id348277384）。**2003**年からは自身のウェブサイト（www.weltrevolution.de）を運営しています。ドイツ証券取引所の証明書も添付いたします。）

新千年紀における神の重要なメッセージは、次の通りです。神と人類の和解が達成された時、戦争のない新時代が到来します。地球上には神が統治する聖なる領域と、人間が統治する人間領域があることが認識された時です。

無限なる神は、イーロン、あなたをこの画期的な変化の重要人物と認め、私、クリス・コドにあなたと繋がるよう委ねました。なぜなら、あなたは人間の領域で偉大なことを成し遂げましたが、賢明にも神の領域、創造、生命、そして自然には関与してこなかったからです。

私の名前はクリス・コド、クリスチャンとコドの融合によって生まれました。これは**1986**年**10**月**12**日、ハレー彗星の通過後に起こりました。真の無限なる神は、ハレー彗星が伝えたメッセージを人類に伝えるために、クリスチャンという名の平凡な人間を選ばれたのです。

地上のエリートたちは、すべてを見てきました。私は快適なコンピュータ研修（VMS）を受け、1990年代と2000年代には金融業界（最初はABNアムロ、次にドイツ証券取引所）にシステムマネージャーとして雇われました。彼らはChrisCodoを全力で守ってくれました。

そして、そのおかげで私は神のメッセージ（www.weltrevolution.de）の要素を書き留めることができました。私にとって感情的なきっかけとなったのは、2003年の醜悪なイラク戦争でした。

これらの忌まわしい人間の戦争に、私は完全に反対します。なぜなら、この新世紀において、技術の進歩と平均以上の利益率のために、戦争はもはや必要ないからです。神は人類の拡張への意欲のために、多くの壮大なテンプレートを用意してくださいました。地球温暖化のおかげで、新たな大きな島と大陸全体（グリーンランドと南極大陸）が誕生したのです。さらに、人類は今世紀中に近隣の惑星である火星と金星に植民地を築く技術的能力を持っています。

地上のエリートたちは、あらゆるものを見てきました。私は快適なコンピュータ教育（VMS）を受け、1990年代と2000年代には金融業界（最初はABNアムロ、次にドイツ証券取引所）にシステムマネージャーとして雇われました。彼らはChrisCodoを精一杯守ってくれました。

そして、そのおかげで私は神のメッセージ（www.weltrevolution.de）の要素を書き留めることができました。私にとって感情的なきっかけとなったのは、2003年の醜悪なイラク戦争でした。

これらの忌まわしい人間の戦争に、私は完全に反対します。

なぜなら、この新世紀において、技術の進歩と平均以上の利益率のために、戦争はもはや必要ないからです。

人類の拡張への欲求を満たすために、神からの壮大なテンプレートが数多く用意されています。地球温暖化によって、新たな大きな島と大陸（グリーンランドと南極大陸）が誕生するのです。さらに、人類は今世紀中に近隣の惑星である火星と金星に植民地を築く技術的能力を持っています。

親愛なるイーロン、近年あなたが数々の正しい決断を下してきたおかげで、運命の支配者である神はあなたにこれほどのビジネス上の成功を授けました。だからこそ神は、人類の未来に関わるあらゆる問題について話し合うために、私たちが緊密な関係を築くことを望んでおられるのです。あなたは人類の代表として、そして私、クリス・コドは真の無限なる神の代表として。

私たちは互いにお会いできます。

私はあなたの莫大な富に怯むことはありません。

そして、神の代理人である私の身分も、あなたを怯ませるものではありません。

親愛なるイーロン、私、いやむしろ神は、あなたがこの文章を注意深く読み、読んだことを確認してくれることだけを期待しています。

よろしければ、会話を始めるために、あなたのメールアドレスをお送りください。

そして後ほど、お時間があれば、ビデオチャットで直接お会いして、私の懸念の核心について話し合いたいと思っています。ケニア、ビクトリア湖畔のキスムから、温かいご挨拶を申し上げます。
クリス・コド

2025 年 6 月 28 日執筆